

「今」が未来をつくる

この小冊子「今が未来をつくる」は、学部学生ご父母のみなさまを対象として、明治大学及び父母会の情報をwebサイトとの連動性を高め提供するものです。

獨立自治
權利自由



父母会活動の魅力

2020年度 明治大学連合父母会副会長
木田 久美子

<https://www.meiji-parents.jp>

明治大学父母会



明治大学父母会

父母会活動の魅力

2020年度 連合父母会 副会長

木田 久美子



2020年が終わろうとしています。明治大学父母会各地区の皆様には、続々と新しい試みでの活動報告をお寄せくださり、誠にありがとうございます。そして、全ての行事を例年どおり行えなくなった学生達が選択した、「どうやったらできるか」に、我々も励まされ続けています。新歓、校歌誕生100年プロジェクト、ホームカミングデー、明大祭、生明祭、シェイクスピア、紫紺の集い、マンドリンコンサート、今年はオンライン開催により、会場に足を運ばなくても自宅で参加され、楽しまれた方も多いのではないのでしょうか。しかし、一口に「オンライン」といっても、画面の向こうの方々にどうやったらご満足いただけるか。学生達が議論を交わし、工夫を重ねてきたであろうことは想像に難くありません。また、体育会学生の活躍もテレビを通じて観られるようになり、応援に力が入ります。

ところで、明治大学における地方出身者の割合は、現在3割にも満たないのですが、我々親世代の頃は逆で、7割ほどと、圧倒的に地方出身者が多かったそうです。「田舎の3年、江戸の昼寝、子どもは東京にやりなさい」。地元校友会の方からの助言です。東京へお子さまを通わせる様々な負担はありますが、だからこそ、ご父母の皆さまが父母会を通じて、大学から援助を受けながら、地元でつながることをおすすめしたいと思っています。

ではそもそもどうして父母達が父母会活動に一生懸命になれるのか。

それは、仲間と感動を共有する経験が、父母会活動にあふれているからではないでしょうか。皆さん気持ちは昭和の学生時代に。スポーツ応援しかり。肩を組んでの校歌熱唱しかり。学生達を応援しているうちに、出会った仲間は、第二の母校での同級生とさえ感じます。職業も出身も年齢もばらばらですが、いつの間にか「明治はひとつ」不思議です。そして、明大生によるマンドリン演奏に感じられる昭和のころ。地元香川県の父母会活動でも、まるで放課後学校に残って生徒会活動しているみたいだな、と感じる事があります。私は生徒会未経験ですが。

明治大学校歌が誕生したのは大正。再現するのは平成生まれの明大生。そして時代は今、令和となりましたが、歌い継がれ、語り継がれてきた全ての事に、変わらない普遍を、長く昭和を生きてこられた校友の皆様、我々親世代も、たとえ初めて会った皆様とでも共有出来、仲間意識が芽生える、そんな魅力が明治大学にはあるように感じなりません。

今年は例年のような肩を組んでの応援は出来ませんでした。Zoomでの応援会開催など、父母の皆さまにも様々なチャレンジ「前へ」の精神がじわじわと根を張りつつあるのを感じています。

まだ見ぬ皆さまへ。明大生を応援する紫紺の大応援団、「父母会」へのご参加を心よりお待ちしております。まずはラインご登録にて、父母会からの情報をお受け取りくださると嬉しく存じます。

(香川県父母会顧問)

TOPIX

学生緊急支援ファンドへ 5,000万円寄付

連合父母会は11月14日の会長会議で、学生の学びを支えていくために設立された「明治大学学生・教育活動緊急支援資金」(通称:学生緊急支援ファンド)へ5,000万円寄付することを決定した。

このファンドは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、家計支持者の失業や収入減、学生自身のアルバイト機会の喪失など、子どもたち学生の、修学継続に暗い影を落としている現状を踏まえ、大学が中長期的な視点で、学生の学びを支えていくために設立したもの。

また、2011年の東日本大震災当時、経済的に著しく困難な状態が続いている被災学生を対象とした「明治大学被災学生支援義援金」が大学によって募られ、当時の父母会が5,000万円の義援金寄付を行っていることも参考にされた。

オンライン会議システムZoomで開催された会長会議では、2021年度の事業計画骨子案や、コロナ禍での父母会活動は「安全・安心・健康」であることを最優先に、デジタル技術を取り入れた「つながる」ことにチャレンジする方針もあらためて採択した。



デジタルで「つながる」チャレンジ方針に「O」

INDEX

- 4 オンラインでできました 東北地区協議会
2020年度 東北地区協議会 幹事
宮城県父母会長 佐竹 達雄
- 6 第2回オンライン (Zoom) 学生交流会
コロナ禍で学生同士をつないだ取り組み
沖縄県父母会長 安里 恒男
- 9 生田地区卒業アルバム製作委員会
『卒業生に大学生活の思い出を届けたい』
農学部3年 食料環境政策学科 富永 由衣さん
- 10 卒業アルバム委員会
『コロナに負けず大学生活最後の思い出づくりを』
商学部4年 小宮山 優也さん
- 12 就活奮闘記
with コロナ就活体験記
情報コミュニケーション学部4年 加藤 美紅さん
- 14 就活奮闘記
負けない心と感謝の気持ちで
理工学部4年 吉岡 寛兵衛さん
- 15 Uターン就職について
就職キャリア支援事務長 小林 宣子
- 16 「校歌の日」イベント
- 18 校歌誕生100周年
明治大学校歌を知るための映像を公開
明治大学史資料センター

オンラインでできました 東北地区協議会

2020年度 東北地区協議会 幹事
宮城県父母会長 佐竹 達雄(さたけ・たつお)



第46回東北地区協議会(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)を10月31日にオンラインで開催しました。東北地区の父母46名に加え、大六野耕作学長、連合父母会の役員の方皆さん、大学関係者、現役学生の参加をいただき61名による賑やかなオンラインミーティングとなりました。初の開催方式となったこの会議を実現するために試行錯誤の連続でしたが、スタッフ一同「やって良かった」と思える充実した活動となりました。開催にかけた思いと、準備の様子などをご紹介します。

と とにかく、東北地区協議会は盛大！

一昨年の青森県は「マグロの解体ショー」、昨年の岩手県は「花巻の鹿踊(ししおどり)」。東北地区協議会のおもてなしは気合が入っています。46回目の幹事の「たすき」を受け取り、1泊2日の盛大な大会の準備を1年前から計画してきました。研修視察の下見やアトラクションに呼ぶタレントの仮押さえ、さあ、いよいよ、という時にブレーキがかかってしまいました。

う 運営はオンラインでやれるじゃないの

新型コロナウイルス緊急事態宣言が出る中で、通常開催を断念せざるを得ませんでした。そんな中、明治大学の学生はZoomを使ったオンラインで講義を受けています。子どもたちと同じ仕組みで父母もつながることができるのではないかと。会えないのは仕方ないとして、学生と同じ方法で開催してみようということになりました。東北の各県父母会に快諾をいただき、大学や連合父母会からも背中を押していただき、いよいよ旗揚げとなりました。

ほ 方針は、離れていても同じアイテムでつながろう

基調講演、連合父母会の講演、父母会連携事務室報告といったオフィシャルな会議はオンラインでもしっかりと運営ができるはず。さて、懇親会はどうするか。オンライン飲み会的なそれでいて参加する皆さんが納得する内容を提案しなくてはなりません。まずは、「仙台に行ったら牛タンが食べたいです」というお話を実現したい、宮城の銘酒も添えてなどアイデアが出てきました。一人一画面で空間は共有できないけれども、同じ飲み物で乾杯して、同じ食べ物をつまむことで、一体感が生まれるのでは？懇親会の企画が前に進んだ瞬間でした。



く 苦しい時ほど助け合い

さて、懇親会のアトラクションを考え直さなければいけません。出演を依頼していた「奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊」にキャンセルを伝えたところでしたが、地区協議会参加者へビデオメッセージをもらえないか相談したところ快諾を得られました。自身もイベントが中止となって苦しい中で、「この状況を乗り切って行きましょう」と励ましのエールを送られました。

ふ 扶助の輪に感謝

さらに、大学代表者、できることなら大六野学長をお招きして父母と直接会話する場を設けられないか、各県父母会対抗でゲーム要素を盛り込めないかと企画の提案がありました。そこで、「学長一問一答」「箱根駅伝オンラインクイズ大会」を実施することに。1泊2日の内容をオンラインに詰め込んだ結果、3時間が見込まれる会合に学長がお付き合いくださるのか、クイズの設問はどこから持ってくるのか大いに悩みました。

しかし、「初の試み」に共感いただき、お願いした皆さまから全面的にご協力をいただくこととなりました。大六野学長には結果として5時間にも及ぶ長丁場にご参加いただき、父母が受けた感銘は多大なものでした。クイズには、明大スポーツ新聞部が出題協力、さらに校歌誕生100年記念プロジェクトについてのお話を学生から直接聞く機会を得ることが出来ました。

ぼ 冒険しよう！永遠の28歳で。

地区協議会の打ち合わせとして10回に及ぶスタッフミーティングを重ね、直前には学生時代の学園祭準備を思い出すほどの追い込みとなりました。そんなことを思っていたところ、懇親会で大六野学長より「私の気持ちは永遠の28歳」とのお言葉がありました。ご参加の皆さんが「Oh!」と若返った瞬間だと思います。この大会を通し、若さとは、何事にも躊躇なくチャレンジし、「初めて」を恐れず冒険することではないかと感じた次第です。

最後に、大会開催にあたりご協力いただいた皆さま、ご参加の皆さまに御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

当日の様子は父母会ホームページをご覧ください。
https://www.meiji-parents.jp/activity/area01/miyagi/20201111_2.html



第2回オンライン (Zoom) 学生交流会

ーコロナ禍で学生同士をつないだ取り組みー

明治大学沖縄県父母会主催

沖縄県父母会長 安里 恒男 (あさと・つねお)



今年度第2回オンライン学生交流会を11月7日(土)14:00~15:30に開催しました。学生の居住先は、今、帰省している学生、東京にいる学生と異なる状況です。そのため、学生への連絡はご父母の協力を得て開催することができました。学生8人とOBの参加のもと、思い悩んでいることや今後の学生生活にむけて先輩後輩でお互いの状況理解や情報交換、アドバイスがなされました。オンラインによる交流会ですが、コロナ禍で下がりがちな学生の気持ちに、これからの夢や目標を考える機会になったようです。アルバイトや部活で参加できなかった学生のご父母からは、今回の内容や感想を伝えたい、いつか交流ができたらと願っているとの声もありました。今後も学生を応援する新しいスタイルの父母会活動を考えていきたいと思えます。交流会の内容と学生の感想をご紹介します。

学生情報交換会

司会:名城さん(4年)

~コロナ禍で良かったこと、困ったこと~

○良かった点

- ゼミの中間発表をオンラインで行ったが、緊張せずリラックスして発表できた。
- 就活や採用試験に集中できた。
- 授業時間にゆとりがあり自分のペースで勉強ができています。
- 通学などの移動もなく時間にゆとりがある。

▼困った点

- 入学式もなく、入試の際に1回しか大学に行けていない。
- 大学に通うことができず大学の様子が把握できていない。
- ゼミで文献を参考にしたいが帰省しているため図書館が利用できないことや購入しないといけない状況にある。
- 自宅に実験用が届き、機材の使用や実験の手法などを独自で取り組みレポートを提出した。
- コロナ禍で社会情勢が先行き不透明のため、就活に不安がある。

OBとの交流会 ゲスト:国吉大陸さん(公認会計士、税理士) 2015年商学部卒業

①自己紹介

学生時代に公認会計士試験合格に向けて取り組んだ。365日、毎朝6時に起床し計画的に勉強した。

②就職活動についての心構えとアドバイス

給料面や仕事の楽しさを求めるのではなく、自分の「好きなこと」を仕事にできるとベスト!

どこに就職したいのか、1社に絞り切れずに迷った時には、自分を鍛えてくれそうな会社を選んでほしい。



Zoomでオンライン交流会をしている様子から

③学生時代にやっておいた方が良いこと「Best 5」

第5位

朝の時間を活用して日経新聞を読む

日経新聞を読む習慣をつけて、社会人になる準備を。

やらないことを決める

スマホのSNSを見る時間を制限する等、やってはいけないことを予め決めておくことやるべきことが自ずと見えてくる。

第4位

本をたくさん読む

真面目にすべてを読むのではなく、大事なところを集中して読む。本から学ぶコツは、厳選された1冊を探そうとするのではなく、興味を持った分野についているんな本を10冊くらい購入すること。そうすることでその分野の正しい理解が深まる。

第3位

やりたいことはすべて実行(行動)する

とにかく直観的にやりたいなと感じたことは、あれこれ考えずに即行動すること。行動しなければ次のステップへは進めない。

第2位

第1位

自分の夢や目標を声に出して発言する

言葉として発言することで、それを聞いた人が助けてくれることがある。どんな夢でも目標でも、恥ずかしがらずに声に出して発信し続けることで夢や目標がより具体的になってそこに近づく。

④学生から国吉先輩への質問

Q. ハードな大学生活で、モチベーションは高くても、体調を崩したり、きつい時には、どうしていたのか。

A. きつい時には、友人や家族などと話をして発散するようにした。話すことはストレス解消になる。

Q. 目標にむかい集中することの大切さを知ったが、目標がぶれることはなかったですか。

A. 「無理かなあ」とあきらめかけたことはあった。そんな時は、死ぬ気で後1ヶ月頑張るって「やってみよう」と取り組んだら自然と力がついていたことに気づいて、乗り越えることができた。

Q. トップを走り続けるという気持ちのモチベーションになっているのは何かありますか。

A. 甲子園で優勝した経験で「頑張って無駄な努力はない」と実感した。頑張れば絶対に夢は叶えられる。自分の人生でも感動的なことが起きる。いつかまたその時がくる、それを味わいたいという気持ちでいる。

Q. ストレスで調子が悪くなった時、モチベーションを高めるために工夫していたことがありますか。

A. 尊敬する人や成功者の本や映画を見て、スイッチを入れ直した。試験に受かったら報告したい人、例えば両親、祖父母、恩師などの名前リストを作成し見るところに置く等、人の力を借りて頑張った。

学生 & OBの感想

島袋 慧也 (理工学部・1年)

沖縄県出身の明治大学生という共通点がある様々な魅力を持った人々とオンラインで会話する事ができました。これは経験の少ない一年の私にとってはとても刺激的でした。その中で先輩達のコロナ禍での日々の過ごし方や困難な状況を乗り越える様子を参考にしたいと思いました。

比嘉 芳貴 (法学部・1年)

先日の学生オンライン交流会では、これからの人生の事や国吉さんご自身の学生時代の生活等についていろいろなお話をしていただき、ありがとうございました。私もこれからの生活についていろいろと考えていきたいと思っています。

安里 恒作 (文学部・2年)

今回のオンライン学生交流会は、前回の交流会と違い学生主体の意見交換を行うことができ有意義な時間でした。更に国吉大陸さんからの学生生活や就職後のお話を聞くことでコロナ禍の中でも将来の事を考えるよい機会にもなりました。今回の交流会で生まれた「輪」を大切にしながら今後も充実した学生生活を送ってきたいと思います。

我那覇 莉央 (国際日本学部・2年)

学生交流会では、コロナ禍で困ったことや良かったことなどを共有し、明大OBである国吉さんからは学生時代にやっておいた方がいいことなど為になる話をたくさん聞くことができとても良い経験になったと思います。学年、学部を超え交流することができ学生生活の不安も少なくなりました。ありがとうございました。

知念 香歩 (政治経済学部・2年)

今回のオンライン学生交流会では、同じ県出身の明大OBである国吉大陸さんからとてもためになるお話を聞くことができました。特に、大学生活でやっていた方が良いことを聞けたことは自分の大学生活を見直すきっかけにもなり、身が引き締まる思いがしました。

山里 一郎 (商学部・2年)

コロナの影響で、学校にもほとんど行けず、友達ともなかなか会えていない中、沖縄出身の明大生と交流会ができてとても楽しい時間でした。また、国吉大陸さんからもたくさんのお話を聞くことができ、これからの大学生活もさらに頑張っていこうと思いました。

兼城 叶佳 (商学部・4年)

他学年との交流の際、リモート授業にて新たな試みがあることを知り“ニューノーマル”時代を生き抜く後輩を頼もしく感じました。また、OBである国吉大陸さんの「社会人1、2年目は効率ではなく、量をこなし自分を鍛える期間」という言葉に大変感銘を受けました。一日も早く平穏な日々が取り戻せるよう心から願っております。

名城 敬人 (理工学部・4年)

今回、学生情報交換会の司会を務めさせていただきました。後輩たちの不安などを聞き、想像もしてなかった現状を知りました。国吉大陸さんの話の中で成功する人の行動や考え方を聞いてモチベーションも上がり、今後に活かしていきたいと思いました。

国吉 大陸 (商学部・OB)

オンライン学生交流会に参加し、学生の皆さんが想像以上にコロナの影響を受けていることに驚いたと同時に、皆さんがピンチをチャンスに変える前向きな気持ちを持っていることに安心しました。画面を通してとても有意義な交流をすることができたので、またこのような機会があればOBとして参加したいなと思います。学生の皆さんの今後の活躍に期待しています！

生田地区卒業アルバム製作委員会 『卒業生に大学生活の思い出を届けたい』

明治大学生田地区卒業アルバム製作委員会 委員長
農学部3年 食料環境政策学科
富永 由衣(とみなが・ゆい)さん (東京都)



生田地区卒業アルバム製作委員会では、生田キャンパスに通っている農学部・理工学部の4年生を対象とした卒業アルバムを制作しています。活動内容は、卒業アルバム撮影会の運営、企画の発案、課外活動(ラグビーの明早戦等)の撮影などを行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、例年行っている春学期の撮影会が中止となってしまいました。撮影会を含め、委員会活動の再開がいつになるのかわからず、思うように動けない日々が続きましたが大学や委員会メンバーなどと話し合いを行い、秋学期の個人撮影会を実施する運びとなりました。

できるだけ多くの4年生に参加していただき、卒業アルバムを制作したいと考えています。そこで今回はこの場をお借りして、今年度卒業アルバム委員会の今後の活動についてご案内します。

※感染防止対策の観点から、集合写真の撮影会は開催を見送っています。

個人写真撮影会のご案内

個人写真撮影会は、生田キャンパスで行っており、プロのカメラマンさんが心を込めて最高の一枚を撮ってくださいます。多くの方に参加していただくために11月の個人撮影会に加え、12月14日(月)～12月18日(金)/1月18日(月)～1月22日(金)にも個人写真の撮影会を行う予定です。

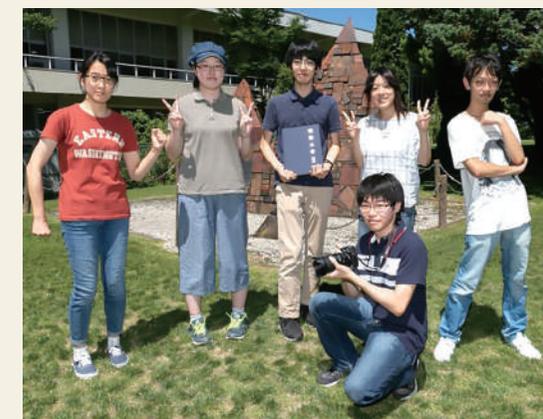
個人写真撮影会開催のお知らせ
2020年 10:00～18:00 2021年 10:00～18:00
撮影無料 12/14(月)～18(金) 1/18(月)～22(金)
受付 中央校舎 図書館側入口 ☎03-3263-5740

写真投稿フォームのご案内

大学4年間の思い出写真や研究室・サークルなどで既に撮影した集合写真も順次受け付けています。ご友人との写真や生明祭で撮影した集合写真も卒業アルバムに掲載いたしますので、4年間の思い出を投稿してみてください。



※国内の新型コロナウイルスの感染状況によっては中止になる可能性がございます。感染防止対策のため、事前予約制を導入し、受付ではアルコール消毒や検温への実施にご協力いただきます。安心して撮影会にお越しいただけるよう万全を期して対策しております。
※上記撮影会にご参加できない場合は、こちらの写真投稿フォームから個人写真をお送りいただくことも可能です。



今年はキャンパスに通い、新たな思い出を仲間とつくる事が思うようにできませんでした。だからこそ、私たち卒業アルバム製作委員会では、卒業を控える4年生に向けて大学生活4年間の懐かしむことできるアルバムを届けられたらと思っています。

4年生の御父母の皆様には、是非お子様に卒業アルバムの撮影協力のお声掛けをお願いします。

with コロナ就活体験記

内定先:日本ロリアル株式会社

情報コミュニケーション学部4年

加藤 美紅(かとう・みく)さん (福井県出身)



例年通りの就職活動を行うと思っていた矢先、コロナウイルスの影響を受け、私の就活は予想の180度違うものとなりました。対面での就活のために大量に購入したストッキングも結局使ったのは一、二足のみ。緊急事態宣言の真最中に就活をしていた私は、下宿先のマンションで試行錯誤しながら、ひたすらパソコンと向き合い続ける日々を送っていました。今回は、私が体験したコロナ禍の就職活動を3つのポイントに分けてレポートしていこうと思います。

①全体のスケジュール

私は3年生の10月から就活を始め、年明けまでは学校のセミナーを皮切りに企業説明会やインターンなどの対面イベントに参加していました。しかし、春に緊急事態宣言が出てからは選考が全てオンラインに切り替わり、Web上での面接やグループディスカッションを本選考で初めて体験することになりました。そして何社もの選考を経て5月に内定を頂き、半年以上続いた就職活動を終える運びとなりました。

②with コロナ就活のメリット

選考が全てオンラインになったことで、「効率の良い就活」ができたことが最大のメリットだと思います。通常であれば交通費と移動時間を費やして会社に赴いていたはずが、今年は全て家で完結したため、1日に複数社の選考を受けることが可能になりました。少しハードではありましたが、直前まで選考の準備をすることができたので効率良くリラックスして選考に挑むことができたと思います。

③with コロナ就活のデメリットとその解決策

私が一番悩んだのは、直接会社を訪れないために社風や雰囲気や人が全く掴みず、納得した会社選びをすることが困難であったことです。やはり対面で社員の方とお話ししたり、会社を見学したりする時間が無いと、最終的な入社を決断する時に不安が残ります。そのため、私はOB・OG訪問で実際にその会社の社員の方にお話を聞き、自分の中の疑問を払拭することで納得した決断をすることができました。オンラインの就活では「なんとなく」で会社を決めてしまう学生が多いように感じますが、自分の中の齟齬を無くして最後まで妥協しないことが大切だと思います。

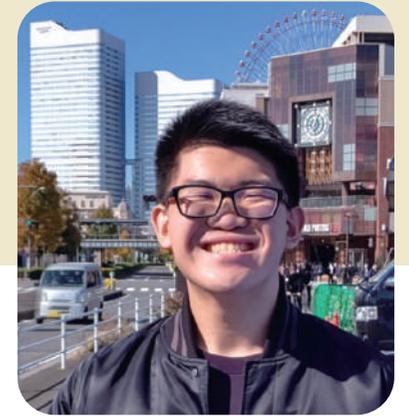
コロナ禍における就活では、選考が全てオンラインになったり、採用中止や延期の発表があったりと、就活生にとってイレギュラーな出来事が沢山起こりました。そのため、自分の思い通りに中々いかず、ストレスが溜まった時期もありました。しかし、その中でもオンラインでしか味わえないメリットを発見したり、数をこなしたりするうちに少しずつスランプから抜け出すことが出来ました。この貴重なwith コロナ就活の経験を社会人になってからも忘れることなく、身を引き締めて日々精進していこうと思います。

負けない心と感謝の気持ちで

内定先:日揮株式会社

理工学部4年

吉岡 寛兵衛(よしおか・かんべえ)さん (兵庫県出身)



就職活動を迎える明大生の皆様、こんにちは。私は、理工学部4年の吉岡寛兵衛と申します。

COVID-19が猛威を振るう昨今、皆様の生活にも大きな影響を及ぼしていることと推察致しますが、今回、私が就職体験記を執筆させて頂くにあたり、少しでも皆様の参考になればと、4つのテーマにまとめました。

①日揮株式会社(以下:日揮)とは

日揮は、生産施設を建てる総合エンジニアリング会社です。

入社決め手は、仕事の魅力はもちろん、社員の方の熱意と私の熱量が合うと感じたことです。

②就職活動で注力したこと

注力したことは、「自己分析」です。私が言う自己分析とは、過去の意思決定の理由を論理的にまとめることです。

これを行うことで、価値観軸を定めることが出来、将来なりたい自分になるための業界が見えてきます。自己分析は時間がかかるので蔑ろにしがちですが、時間がなかったとしても限られた時間の中でしっかり自己分析することをお勧めします。

③就職活動で大切だと思ったこと

大切だと思ったことは、「自己完結しない」、「絶対に入社してやるという想い」です。

ESや面接対策文を書いていて、もっと上手く書けるんじゃないかと思った時には両親に相談しました。また、面接練習では自分の話した内容を録音することに加えて、キャリアセンターに2ヶ

月間毎日通いました。

私の学科は3年時に手書き製図や実験とかなりハードでしたが、夜の寝る間を削ってでも就活の時間を作り、更に最終面接の前日、前々日と2日間ライバル会社のインターンに参加し、最後の最後まで日揮に入社してやるぞと気持ちを高めました。

時には厳しいご指導でめげそうにもなりましたが、全部自分のためを思っただけだと素直に受け止め、感謝しながら取り組んだ事、そして絶対に入社してやるという強い想いが内定獲得の要因だと思っています。

④これから就職活動を控える明大生へのメッセージ

今年は特に例年と異なる状況や不安になる情報が多く、精神的にも辛いと思います。こういう時こそ、支えてくれている周りの人たちに感謝する気持ちを忘れないこと、そして、不安を打ち負かすだけの行動力を持って就職活動に挑んでいけば必ずと道はつけられていくと思います。

最後になりますが、皆様のことを心から応援しています。日揮に興味を持たれた方は是非早めにOB訪問してください。私で宜しければ、いつでもご連絡ください。写真の左後方の白いビルが会社です。こちらでお待ちしています！

Uターン就職について

就職キャリア支援事務長 小林 宣子



2020年3月の卒業生数とUターン就職者数は、表のとおりです。ここ数年、Uターン率は低下していますが、主なUターン先としては、公務員、銀行、インフラ(電力・ガス)、マスコミ(テレビ・新聞)、メーカー等があげられます。

11月10日にオンラインで開催した「Uターン就職講座」には、1年生から3年生まで約100名の学生が参加しました。Uターンするか、しないか、迷っている学生も多く、企業の探し方や、Uターン就職のメリット等、多くの質問が寄せられました。

各地方自治体は、東京に進学した学生には、地元に戻り活躍してもらいたいとの思いが強く、Uターン就職に力を入れています。世界トップクラスのシェアを持つ企業や、日本でのオンリーワン企業等のリストを作成し、大学に送付して下さった自治体もあります。

各県は、東京事務所も設置しており、県内の企

業情報はもちろんのこと就職相談も行っています。

また、就職キャリア支援センターのホームページや、「M-Career(就職キャリア支援システム)」で大学に寄せられたUターン情報を掲載しています。厚生労働省の「LO活プロジェクト」等もあります。

Uターンを希望する学生は、地元で貢献したいという気持ちが強いと思いますが、なぜ地元で貢献したいか、そしてどんな企業があり、なぜその企業でなければならないのかを考えてみるのが大切です。

LO活プロジェクト

『Local+就活』の意で、地方就職を考える若年層を応援する厚生労働省のプロジェクト。全国46の自治体、200以上の学校連携により、地方就職に特化した情報を掲載。

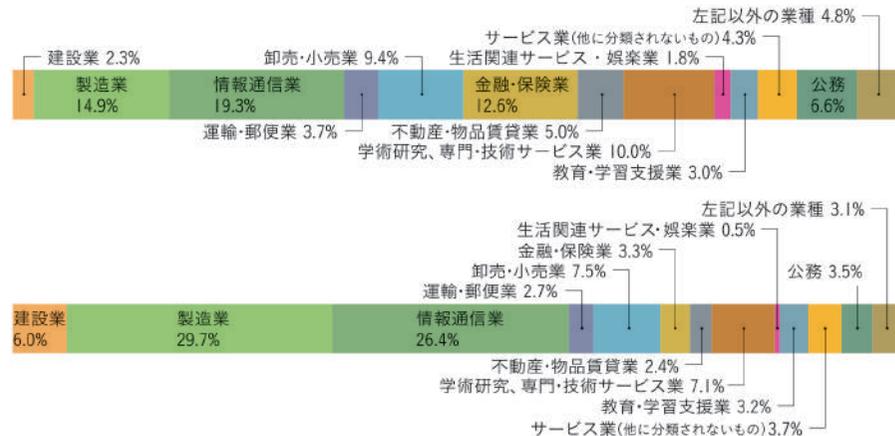
https://local-syukatsu.mhlw.go.jp/lokatsu_seminar/



業種別就職状況

(2020年3月卒業・修了者)

文系
理系



出身地別卒業生数・Uターン就職者数

(2020年3月卒業・修了者)





「校歌の日」イベント

校歌が誕生して100年。

10月28日が「校歌の日」として制定されました。

校歌を通じて明大生であることに誇りを持ち、挑戦する原動力に



校歌誕生100周年 — 100年前へ、「時を戻そう」

明治大学校歌を知るための映像を公開 (明治大学史資料センター)

このたび、明治大学史資料センター(所長 村上一博法学部長)では、明治大学校歌制定100年を記念し、校歌を様々な側面から紹介する映像を公開しました。

今回は誌上でその映像の内容のごく一部を紹介いたします。

映像本編は、下記の「校歌100周年」サイトで視聴できます。ぜひご覧ください！



<https://www.meiji.ac.jp/koyuka/homecoming/2020/song/>
(第23回明治大学ホームカミングデー特設サイト内)

I 明治大学校歌の成り立ちを深く知る— オンライン講演会「明大校歌 歌い継がれて100年」

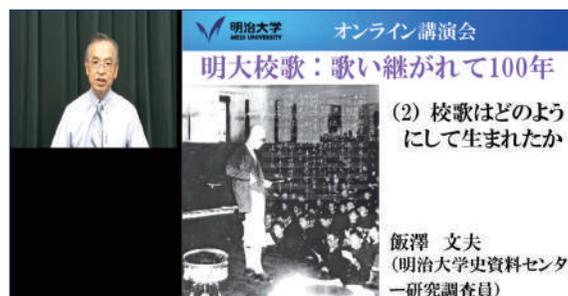
校歌の成立と大学の歴史を研究する専門家による、校歌とその周辺をめぐるオンライン講演会2本を公開しています。



校歌から見た明治大学の原風景 児玉花外の詩魂にも触れて

講師: 村上一博 明治大学史資料センター所長
(約30分)

そもそも校歌とは何か。他大学の校歌制定の歴史等をたどりながら、明治学校歌作詞者である詩人・児玉花外(1874-1943)の生涯を紹介します。



校歌はどのようにして生まれたか

講師: 飯澤文夫 明治大学史資料センター
研究調査員 (約50分)

講演者の飯澤研究調査員は本誌前号まで「校歌誕生物語」を連載しました。このオンライン講演会では、明治大学校歌の誕生校歌誕生をめぐる関係者の行動や思いを紹介します。



II 〈幻〉の校歌を再現— 明治大学校歌の原型を聴く(守屋健太郎監督・約12分)

明治大学校歌には、いまはもう歌われない〈幻〉のフレーズがありました。

今年、明治大学図書館で秘蔵する山田耕祐の自筆譜から、その「原型」を復活する試みが行われました(ピアノ 土山亜矢子氏・歌唱 グリークラブOB会)。

その模様と校歌誕生の秘密を追ったミニドキュメンタリーが守屋健太郎監督(1992年法学部卒)による「明治大学校歌の原型を聴く」です。守屋監督は、映画・テレビドラマ・CMの他、ミュージック・クリップも多数手掛けており、本作の美しい映像と〈幻〉のフレーズが再現された校歌歌唱シーンは必見です(校歌レコーディングプロデューサー: 田中正氏(ハピネスレコード社長 1992年経営学部卒))。

映像のナレーションは声優・マルチクリエイターの三ツ矢雄二氏(文学部1979年卒)がつとめています。

III 校歌初演サークルによる校歌実演

1920(大正9)年10月28日、明治大学ハーモニカソサエティー第1回定期演奏会にて、明治大学校歌が初演されました。ハーモニカソサエティーは明治大学最古の音楽サークルとして現存し、11月に終了した第102作NHKテレビ小説「エール」でも演奏協力をするなど、内外で活躍を続けています。



寺澤ひろみ氏独奏による校歌初演再現(約2分)

同サークルのOGであり、プロハーモニカ奏者として活躍する寺澤ひろみ氏(文学部卒)による複音ハーモニカでの流麗な校歌演奏は、初演当時のハーモニカの演奏技法を再現しています。100年前を彷彿させる演奏に耳を澄ませていただければと思います。



現役生と寺澤氏のリレー演奏(約3分半)

ハーモニカソサエティー現役生と寺澤氏によるリレー演奏映像も公開しました。現役生はリモートでの参加となっておりますが、寺澤氏の演奏とは技法も異なり、「校歌100年」を比較・展望する演奏となっております。

応援しています

校歌誕生100年プロジェクト



明治大学校歌

児玉花外 作詞
山田耕筰 作曲

Tempo di marcia ben marcato (♩=112)

しーらくもなびくーすーるーがだいまー
ゆひいでたるーわーこーうどがつくやじだ
いーのあーけーのーかねぶんかのうし
おーみーちーびきてとげしいしんのはー
えーになうーめいじそのなぞわれらーがほこ
うーめいじそのなぞわれらーがほこ

白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の栄になふ
明治その名ぞ吾等が母校
権利自由の揺籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗幟し
高き理想の道を行く
我等が健児の意気をば知るや
我等が健児の意気をば知るや
霊峰不二を仰ぎつつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ



学生たちが取り組むプロジェクト

10月28日「校歌の日」イベント動画を公開。

校歌誕生の歴史をはじめ、明治大学関係者へのインタビュー、サークルや体育会の動画など、校歌を通じた様々なコンテンツが続々と公開されています。

明治大学 校歌誕生100年記念プロジェクト Web サイト
<https://www.meiji-koka100year-pjct.jp/>

